

中野市豊田地域審議会 会議録

- 1 開催日時及び場所 平成 20 年 2 月 15 日 (金) 午後 2 時 00 分
豊田文化センター (2 階) 会議室

- 2 出席委員及び欠席委員氏名
 - (1) 出席委員 ・小橋要委員・小橋高子委員 ・高橋委員 ・市川委員
・山口委員 ・割田委員 ・西澤委員 ・岡村委員
・清野委員 ・小林委員 ・高野委員 ・丸山扶美委員
(12 名)

 - (2) 欠席委員 ・神田融二委員

 - (3) 出席職員等 ・市長・総務部長 ・健康福祉部長 ・子ども部長
・くらしと文化部長 ・経済部長 ・建設水道部長
・消防部長 ・豊田支所長 ・教育次長 ・議会事務局長
・庶務課長 ・庶務課長補佐 ・政策情報課長
・健康福祉課長兼子ども課長
・経済課長兼建設課長・市民環境課長・秘書広報係長
・行政管理係長 ・行政管理係滝澤主事

- 3 議題及び議事の顛末
 - 1 開 会 【総務部長】 午後 2 時 00 分

 - 2 市長あいさつ 【市長】

 - 3 会長あいさつ 【会長】

 - 4 協 議 事 項
 - (1)副会長の互選について 【会長】
○副会長が空席となっているが、2 月末に保健補導員会、来年度 4 月には
放送番組審議会からの委員推薦があるため、全員揃ってからの選出とし

たい。 —全員了承—

(2)平成 19 年 11 月 15 日開催の地域審議会意見の回答について

【各部長 説明】

○委員：東御市地域審議会委員のメンバーには合併協議に参加した委員がいる。豊田地域審議会にもその枠が必要。

地域審議会は諮問機関である。一昨年の 12 月議会では、豊田地域の商工業の振興策については地域審議会でも議論するとあった。その後どうなっているか。

○総務部長：合併協議委員の件については研究するが、当面現状のとおりとさせていただきます。

地域振興については、目に見える形で結果が出てこない現状である。地域審議会のなかで、大いに議論いただきたい。諮問についても相談させていただきたい。

○委員：対等合併という形の中で、合併の効果を一日も早く検証していただきたい。

○総務部長：苦しい経済状況の中、市全体があらゆる改革を進めている。検証については、来年度の第 1 回で出させていただきます。

○委員：地域審議会は地域に元気が出るように、ということで構成されているのだろうが、市全体から見ると苦しい状況と思う。それぞれの委員からお気づきの点について挙げてもらい、可能な限り引き受けて出来るものと出来ないものを公表するべきである。地域住民が張り合いを持てる施策を願う。

○委員：プラごみ収集日に、収集車が集めていってくれないものがある。きれいな捨て方であったし、なぜ残していくのか疑問である。

また、ゴミの減量についての考えを聞きたい。

○くらしと文化部長：市が収集しないものについてはステッカーを貼っている。もし不具合等あれば、環境課や支所までお知らせをいただきたい。

ゴミ減量については消費者に委ねられる面が大きい。難しい問題だが、ご家庭等で考えていただく部分もあると思う。

○委員：上今井橋の手前の坂で、ゴミを投げ捨てていく人がいる。水害用に設置してあるカメラを利用できないか。「防犯カメラ設置」等の看板を

- 出せないか。
- くらしと文化部長：ゴミの投棄は犯罪行為である。啓発等 PR を進めていきたい。防犯カメラの活用については持ち帰って検討させていただく。
 - 委員：飯山陸送のごみ処理場について、市で出る廃プラは全量そこで処理しているのか。そうでない場合は何割処理しているか。
 - くらしと文化部長：3月末日までは、市の廃プラは飯山陸送で処理している。4月からは法人ルートになるので、業者は代わるだろうと思う。割合については把握していない。
 - 委員：飯綱町の産廃の問題についても是非住民の意見を尊重してやっていただきたい。
 - くらしと文化部長：県から意見を求められれば市長の意見を付して県に提出する事になっている。しかし残念ながら中野市は許可権限者ではないため、その辺りはご理解いただきたい。
 - 委員：「中野市には廃棄物をもってこない」という意気込みを表していただければと思う。
 - くらしと文化部長：貴重なご意見として承る。しかしゴミを出すのは誰しも一緒であるので、皆さんと一緒に考えていかなければならない。
 - 会長：地域の中でリスクバランスを考えた結果、処分場建設計画には反対をしていくという態度を表すのは必要。自分も携わってきたので大きな課題として受け止める。

(3)「豊田地域の振興に関する意見書」進捗状況・今後の予定について

【各部長 説明】

- 委員：遊休農地ならまだしも、荒廃農地が増えたことは問題である。農業委員はじめ、みなさんご苦労されていると思うが、今後も差し障り無いように進めていただきたい。

高野辰之記念館周辺のイメージアップについて、より具体的に対応してもらいたい。駐車場について、外から来た方が寄ってみようと思うものではない。また、ご存知のようにテニスコートがあって、周りの話を聞くとイメージにそぐわないという。移設を進めてもらいたい。

また、道の駅を中心とした産業活性化についてだが、あの売り場では狭いと思う。

高齢者補助を行っていただくのは良いが、周知が足りない気がする。例えば散髪の補助について、制度があるなら補助を受けられる体制作りが必要。

○経済部長：遊休荒廃農地については農業委員さんとの連携をしながら対応をしていきたい。

道の駅は地域発展のため、極めて重要な施設。売り場面積については検討を重ねて参りたい。

○くらしと文化部長：高野辰之記念館については、検討をさせていただきたい。

○健康福祉部長：シルバーに対する補助について、該当する方全員に通知を送り、返信できない方は職員が尋ねた際にお預かりするという方法を取っている。なお、散髪の補助については、在宅で障害のある方に交付している。

○委員：地域審議会に興味を持っている方が多い。説明したいので、できれば今日の説明を書面でいただきたい。

○総務部長：今後は「豊田地域審議会だより」を発行し、回覧する等の周知方法を考えているところである。

○委員：除雪体制について、たとえば 15cm なら出動するが 10cm ならしないという基準はあるのか。合併協議の際、確か除雪体制についても協議をした記憶がある。

1月9日の地域審議会での説明では、インターネットの料金について、豊田地域が高いという話があった。その後どうなったか。

○建設水道部長：業者との話の中で、当初 10cm から 15 cm としていた。しかし、しっかりメジャーを当てて計るわけではなく、大まかな判断によるものとしている。

○庶務課長：ネット料金についてだが、ジャニスプロバイダとして運営している。金額について安くしてもらうため、接触をしている。今現在はいくらという結論までは至っていないので、決まった際にお知らせできる。

○委員：料金の改定があった場合に、市は関与しないのか。

○庶務課長：テレビ北信は民営であるが、豊田ケーブルは市営であるため、市の決まりがあり、変更する場合には手続きを進めていく。インターネットについては、市が経営しているわけではないため、各ご家庭と業者が直接契約していただくことになる。とはいえ豊田地域と中野地域の均一化については交渉を進めていく。

○委員：豊田ケーブルとテレビ北信はいずれ一元化されるのか。

○庶務課長：民営と公営ということで、財産も違うので一概に合体ということは難しい。情報基盤整備については公設民営という考え方であるが、

情報については両地域で同じ内容のものが流せればと思っている。

- 委員：もし豊田ケーブルが北信ケーブルの中に入ってしまったら、料金についても意見を言うことができない。住民に対する説明責任もあるため、その辺りを心配している。

インターネットは、今豊田は5Mで3,360円、中野は30Mで3,150円と聞く。その辺りを見ながら検討をいただきたい。

- 総務部長：料金の改定については3月議会でお願いをする予定。組織については今後の検討という考え方である。

- 委員：情報センターの利用料について住民への周知については。

また、今情報センターにいる職員はどうなるか。

- 庶務課長：検討は行ってきているが、今回のデジタルに併せて改定をしていく。放送番組審議会、前回の地域審議会、また説明を求められて地区（上今井）で説明した。来週の区長会でも説明をさせていただく。決定する手順としては3月の議会に諮る予定である。

豊田ケーブルと北信テレビを一本化する場合には、単純な一本化ではなく、業務委託をするという方法が考えられる。その際には必要な職員数で運営するが、現段階での回答はできない。

(4)今後の予定について

【政策情報課長 説明】

4 説明事項

(1)豊田支所の組織について

【総務部長 説明】

- 委員：教育委員会が支所に来ていただけることには感謝している。支所の機能は簡素化されるが、合併協議で調整したとおり、行政サービスが低下しないように願う。

- 会長：非常に重大な案件。住民福祉を優先した場合、委員さんには大変な役割を担っていただくことになる。

- 委員：支所に来たとき、豊田地域の職員がいると落ち着くという声を聞く。配置についてはその辺りも加味してもらいたい。

- 総務部長：サービス低下を招かないよう進めて参りたい。

職員の配置については配慮するが、合併後3年たったこともあり、新しい中野市をつくっていくという面もご理解いただきたい。

- 委員：「将来はこういう形を求めて、今こうしていくんだ」という中長期

的なビジョンが必要。住民に説明していくことも必要だが、その辺り、現状も含めた説明をお願いしたい。

○総務部長：中野市の定員適正化計画では5年間で37人、合併前の旧市村の職員数に対し、10年間で80人の職員を減らすこととしている。80人という人数は大変なものだが、その中で全体の行政サービスの低下を招かないようにしなければならない。

交通・通信等多岐にわたる課題の中で数十年先の中長期的なビジョンという程のものはまだわからないが、当面はこの体制でいきたい。

○会長：支所長と課長を兼務ということについては。

○総務部長：兼務ではなく、支所長と地域振興課長、それぞれを置くと考えている。

○委員：3係とあるが、それぞれの人数を教えて欲しい。

○総務部長：具体的な話は、今後の変更もあるためお答えすることはできないが、10人ほど減の予定。支所機能については「総務係がないからできない、市民生活係がないからできない」というのではなく、横の連絡を取り合う組織にしていきたい。

○子ども部長：平成20年度から、予防接種については担当医師の辞退の申出により、豊田会場での実施が出来なくなる。市では今後も依頼をしていく。

○委員：平成20年度限りの話にして欲しい。全てがなし崩し的に進められている気がする。合併して3年経過しようとしているのに、旧市村を結ぶ道路1本も整備されていないのが現状である。

5 閉会 午後5時30分